



学校だより

東京都立府中けやきの森学園

〒183-0003 府中市朝日町 3-14-1

TEL 042-367-2511 FAX 042-369-8476

<https://www.fuchu-keyaki-sh.metro.tokyo.jp>

令和7年7月18日(金)発行 第5号

夏休みを前に

副校長 宮本 光司

例年になく雨が少ない梅雨が続き、暑い夏となりました。6月半ばから本校の空調設備が不具合となり、子供たちには大変な思いをさせてしまったこと、改めてお詫び申し上げます。保護者の皆様には、子供たちの日々の体調管理や、保護者控室の移動等の様々な御協力をいただきました。7月3日以降は、肢体不自由教育部門を1便下校としました。これに伴い、御予定の変更、学校への迎えや付添い、放課後事業所への連絡等々をお願いすることとなりました。本当にありがとうございました。設備面では、窓用エアコンに加えてスポットクーラーの設置等を行ってきましたが、夏休み中に空調設備全体の修繕を行い、さらに各教室には家庭用エアコンを増設して9月の2学期を迎えられるようにいたします。

さて、第3号でお伝えしたSDGs学習の続報です。これまで、給食調理で出る野菜くず等を使って学校の畑で堆肥づくりを行ってきました。2学期からは、乾燥させた野菜くずを御家庭からも持ってきていただき、堆肥の材料としていきます。野菜は、根菜の皮などが乾燥させやすいようです。詳しくは、別途お配りするプリントを御覧ください。

夏休みは、御家族とゆっくり過ごしたり、普段と違う経験をしたりできる機会でもあります。体調に気を付けながらも、子供たちには夏休みを十分に楽しんで、元気に2学期を迎えてほしいと思っています。

いじめ点検の取組（生活意識調査）と夏季休業中の生活について

生活指導部主任 主幹教諭 梅景 靖之

6月に全校の児童・生徒を対象として、生活意識調査を実施しました。「いじめ」の点検だけでなく、皆さんが困っていることを担任が把握し、すぐに対応することができました。安全に楽しく学校生活を送れるよう2学期、3学期も継続して取り組みます。

明日から8月31日まで、夏季休業日となります。この長期休業を安全に過ごすために以下のことに注意して生活していきましょう。

- ・一人で外出するときは、保護者に必ず行き先や同行者、帰宅時間、連絡方法等をきちんと伝える。
- ・自転車で外出する場合は、交通ルールを守り、交通事故の防止に努める。
- ・海、山、プール等での事故を防ぐため、予め危険な行為等について確認する。
- ・暴力行為、万引き等、飲酒・喫煙、異性トラブル、無断外泊、深夜徘徊などの非行や犯罪等の未然防止に努め、社会の基本的なルールを確認する。
- ・パソコン、携帯電話、スマートフォン等の情報機器の適切な利用方法を確認する。
- ・犯罪や事件事故に巻き込まれないよう自ら危険回避する力を付ける。

夏季休業中にお子様の様子で気になることがありましたら、本校のホームページ（学校生活＞生活指導）に相談窓口の一覧などの情報を掲載しておりますので、ぜひ御参照ください。

肢体不自由教育部門高等部の教育活動

肢体不自由教育部門高等部主任 主任教諭 平田 愛子

肢体不自由教育部門高等部では、全学年を対象に進路面談を実施し、進路についての話をさせていただきました。進路決定にあたっては、1年次に進路見学、2・3年次に現場実習を行い、徐々に絞り込んでいきます。肢体不自由教育部門は生徒の実態や障害も様々なため、進路先も多岐にわたっています。卒業後、どんな毎日を送りたいのか、何に取り組んでいきたいのか、そのために今何をしなければならないのかを逆算して考えていくことの大切さは、どの生徒にも共通しています。

ある生徒は、一人での安定した歩行を目指し、毎朝歩いた結果、体力が付いて長い距離を安定して歩けるようになりました。YES・NOの意思表示が目標の生徒には、日々の学習で選択する場面を多く設定しています。表情や声で自分の気持ちを伝え選択する力が付いてきました。また、作業学習では、丁寧に正確に作業する力を高めています。細かい作業は大変ですが、続けることで次第に効率が上がり、できることが増えました。まだ先だと思っていた卒業も、高等部に入るとあっという間です。一人一人が選んだ進路先に進めるように、卒業後の生活を見据えた進路指導を日々続けています。



知的障害教育部門高等部の教育活動

〈1年生〉

第1学年主任 主任教諭 山田 由佳

6月から水泳学習を実施してきました。始めは、不安な表情の生徒も多くおりましたが、回を重ねる度に表情が明るくなり、活動をととても楽しんでいる様子が見られます。また、楽しむだけではなく自己の課題に向き合い、真剣な表情で練習に取り組む姿も見られます。2学期には、初めての校外での進路学習となる「進路見学」が始まります。緊張や不安もあるかと思いますが、生徒の皆さんの成長につながるよう努めてまいります。



〈2年生〉

第2学年主任 主任教諭 兵庫 侑子

5月から6月にかけて「就業体験」を実施しました。初めての場所で緊張もあったと思いますが、自身の進路について考える良いきっかけとなりました。

また、校内では、他学部・他学年を招待して「夏祭り」を実施しました。生き生きと店番をする姿が見られ、来てくださったお客様から大好評でした。2学期は行事の多い学期となりますが、一つ一つ丁寧に学習を進めていきます。



〈3年生〉

第3学年主任 主任教諭 平 貴子

作業学習や現場実習など卒業後の生活に向けて本格的に取り組んでいます。作業学習では、リサイクルできるようにしたペットボトルを、地域の施設の回収ボックスに入れに行く活動をしました。現場実習では、それぞれの希望の実習先で実習を行い、進路先の決定を目指して真剣に取り組んでいます。また、生活単元学習では、クラスごとに作成した動画の鑑賞会や夏祭り準備など、学校生活最後の思い出作りも行っています。



くぬぎ分教室「音楽鑑賞会」



くぬぎ分教室 主任教諭 磯山 亜紀子
7月3日(木)「音楽鑑賞会」が行われました。
くぬぎ分教室がとても楽しみにしている行事です。この日のために1か月前からリクエスト曲を考えたり、授業でプレゼントやプログラムを制作したり、協力して準備を進めてきました。療育センターの皆様と一緒に「ミュージックボックス」さんのステージを会場一体となって楽しみました。歌とトークとパフォーマンスによる笑いと幸せに包まれた夢のような1時間でした。

最後に生徒代表が「ありがとう」の気持ちを込めて、分教室で栽培したミニトマトに手作りのメッセージカードを添えてプレゼントし、とても喜んでいただきました。本行事は、児童・生徒にとって、いろいろな人と触れ合い、生演奏を味わい、「本物」の芸術に親しむことができる貴重な経験の場です。療育センターの皆様からも温かい御協力をいただき素晴らしい会となりました。



知的障害教育部門中学部3年高等部見学

知的障害教育部門中学部 教諭 山市 臨太郎

7月4日(金)に高等部進学へ向けて、高等部の作業学習の見学と体験を行いました。高等部進学への具体的なイメージをもち、当日は生徒たちも高等部の様子に緊張感をもって見学と体験に臨んでいました。

実際の作業学習を見学し体験することで、中学部での作業学習が進学後の学校生活においても大いに役立つこと、また中学部と高等部の雰囲気の違いを知ることができる貴重な機会となりました。

最後には、高等部の学部主任の先生から、進学へ向けた残りの中学部での過ごし方について、講話を聞くことができました。初めて高等部の先生から話を聞く機会でもあったので、どの生徒も真剣な

眼差しで聞いていました。

後期には、校外での就業体験を計画しています。高等部卒業後の進路へ向けても中学部の段階から主体的に考えられるよう支援・指導してまいります。



知的障害教育部門高等部 1 年校外学習

知的障害教育部門高等部 1 年 教諭 木内 歌音

7月1日(火)立川市にある東京グローバルゲートウェイグリーンズプリングス(体験型英語学習施設)に行ってきました。事前学習では、行き先を確認したり、教師が外国人スタッフ役になって英会話の練習をしたりしました。実際に施設内に入ると、初めは緊張した表情の生徒も多くいましたが、事前学習での経験から、室内の壁に投影されたお店やアクティビティなどの映像に囲まれた空間で、外国人スタッフと主体的に会話やコミュニケーションを楽しんだり、雰囲気味わったりすることができました。外国の文化に触れるよい機会になったと思います。

これからも様々な教育活動を通じて生徒一人一人の実態に応じた指導をする中で、学びの意欲や関心を高めていき、多様な経験を積んでいけるように取り組んでまいります。



知的障害教育部門中学部 1・2 年校外学習

知的障害教育部門中学部 2 年 主任教諭 三ヶ田 純平

7月1日(火)に稲城市にある「よみうりランド」に行ってきました。事前学習では、予算を確認しながらレストランで食べる予定のメニューを自分で決めたり、カップ麺の焼きそばにオリジナルのイラストを描く練習をしたりしました。レストランで働く人を間近で見たり、グッジョバ(ものづくり体験エリア)で活動をしたり、経験をとおして、働くことに興味をもったり、多くの利用者がいる公共の場での過ごし方やルールを学んだりすることもできました。



けやきSDGs・堆肥プロジェクト

けやきSDGs堆肥プロジェクト担当 主幹教諭 柳 明良

「けやきSDGs・堆肥プロジェクト～野菜くずの冒険～」がスタートしてから3か月間の取組を御紹介させていただきます。1学期は「堆肥」を使った栽培を中心に行いました。堆肥をポットや鉢に入れて野菜や花を育てました。児童・生徒からは、「咲いてきたね」、「野菜、大きくなってきているね」などの声が聞かれました。また教員が声を掛けると、笑顔や身振りで応える姿が印象的でした。収穫が楽しみです。また、知的障害教育部門高等部では、新しい完熟堆肥を作っています。

2学期からは、新しい取組を御紹介させていただきます。



一人1台端末の活用

情報部主任 主幹教諭 松島 宏樹

一人1台端末（GIGA端末、スマスク端末）を活用し、学びをより豊かにする取組を進めています。児童・生徒のニーズに応じて、デジタル教科書やデジタルノート、コミュニケーションツールなど、様々な方法で端末を利用しています。これにより、児童・生徒は自分の意見を簡単にグループで共有したり、画面をタップして自分の考えを表現したりすることができ、児童・生徒にとって非常に重要な学びのツールとなっています。また、プログラミング機器を一人1台端末で操作するといった活用もしています。

今後、各学部での実践例を順次御紹介してまいりますので、ぜひ御期待ください。



セーフティ教室 ～自分の身を守る行動について～

生活指導部 教諭 鵜澤 翔

6月23日から7月4日の期間で各教育部門において「セーフティ教室」を実施しました。府中警察署のスクールサポーターの方に御協力をいただき、登下校時に遭遇する危険とその回避方法や、日頃の生活の中に潜む危険について学びました。実際に声を掛けられた時のことを想定したロールプレイを行い、自分の身を守る行動やSOSの出し方など、体験をすることができました。

他にも、スマートフォンや携帯電話の使用するときの危険やSNSに関するトラブル、サイバー犯罪などについても学びました。

1学期に行われた「交通安全教室」や「セーフティ教室」で学んだことに留意して、夏季休業日中を安全に、そして有意義にお過ごしください。

い かの お す し

ついてい**か**ない
くるまにの**ら**ない
お**ご**えをだす
す**ぐ**に**い**げる
おと**な**の**ひ**とに**し**らせる

